

令和8年度 重点取組事項



国民の森林・国有林

林野庁 九州森林管理局

長崎森林管理署

目次

1 「新しい林業」を目指す取組の展開	
① 再造林コストを低減できる造林技術の確立と普及	・・・1P
2 公益重視の管理経営の一層の推進	
① 地域の安全・安心の確保に向けた治山事業の取組	・・・2P
② 地域と連携した生物多様性の保全と 観光資源の創出の取組	・・・3P
3 森林・林業再生に向けた貢献	
① 森林整備推進協定の取組	・・・・・・・・・・・・・・4P
② シカ被害対策の推進	・・・・・・・・・・・・・・5P
4 令和8年度 長崎県下国有林主要事業量の概要	・・・・・・・・6P

「新しい林業」を目指す取組の展開

① 再造林コストを低減できる造林技術の確立と普及

低密度植栽と長方形植の実施

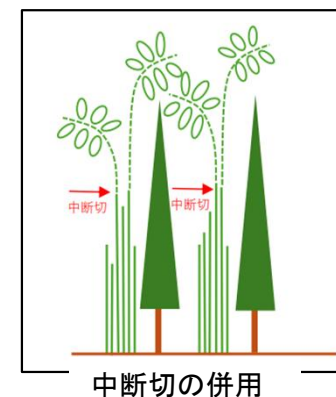
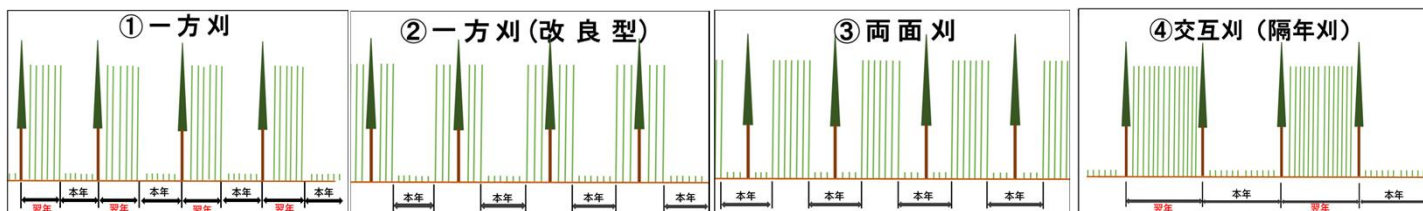
- ・従来（3,000本/ha）より少ない植栽本数で、軽労化・省力化・コスト低減を図る。
- ・あわせて、植栽方法も従来の正方形植から長方形植にすることで植付け、保育作業のための歩行距離を縮減することができる。



コンテナ苗植機（試作機）の実演会視察

下刈りの低減と全刈りから一部刈らない筋刈りへの移行

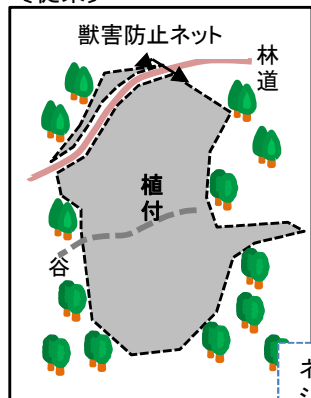
- ・下刈りにおいて、一部を刈らない筋刈りを実施するとともに、残し幅の侵入木を中断切することにより、下刈りの省力化を図る。あわせて、下刈り回数の低減により低コスト化も推進。



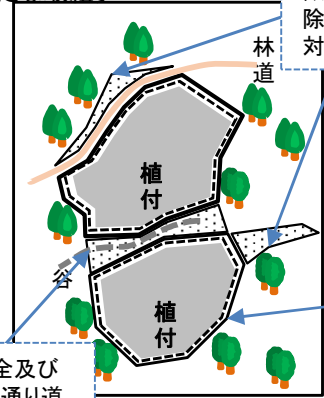
シカ被害から造林地をまもる取組の強化

食害や角こすり等のシカ被害により、下刈りが長期化し省力化の妨げになっており、対策が急務となっている。こうした中、シカの侵入の要因ともなる植生防護柵の破損を防ぐため、柵張りの工夫等を実施。

〔従来〕



〔新たな取組〕



獣害防止ネットは張らず、除地あるいは単木保護で対応

植付範囲（ネットから距離を空ける）

獣害防止ネット（林縁から植栽1列分程度の距離を空ける）

ネット施設の保全及びシカや小動物の通り道

Topic: 下刈り方法を工夫したシカ対策の実証

令和7年度に、対馬流域下刈り箇所においてシカネット内側の1mを刈り残す実証を実施したところ、シカによる食害が軽減される結果が得られた。

これを踏まえ、ネット破損リスクの低減及び雑草木等によるシカからの目隠し効果等の観点から、林縁から植栽1列分程度の距離を空けて設置していく。



① 地域の安全・安心の確保に向けた治山事業の取組

○ 取組の概要

近年頻発している豪雨災害等の自然災害に対処するために管内全域において、計画的な治山対策を実施するとともに、過去に甚大な災害をもたらした島原地域においては、長崎県をはじめ関係機関等と連携し、効果的な治山施設を施工する。

▼ 具体的な取組

- ・ 令和7年度の治山事業については、島原市において溪間工3基を施工した。
- ・ 令和8年度は、島原市において溪間工5基、航空実播工1.55ha、対馬市において溪間工2基の施工を予定している。
- ・ 引き続き、眉山の山体挙動観測のため、山中に傾斜計、伸縮計、水位計等の観測機器及び土石流センサー、監視カメラを設置し、その情報を関係機関に提供していく。



溪間工（島原市：安中4溪）



眉山観測システム
(眉山治山事業所内)



平成新山防災視察登山

② 地域と連携した生物多様性の保全と観光資源の創出の取組

○ 取組の概要

- ・ 希少野生生物であるツシマヤマネコの保護のため、巡視やツシマヤマネコと共存する野生生物の生息状況の調査等を実施するとともに、関係機関との会議や検討会に積極的に参加し、意見交換や国有林の情報提供を行う。
- ・ 森林浴や野外スポーツなどに適した国有林として設定された「レクリエーションの森」のうち特に美しい景観を有するなど、観光の場としての利用を期待される「日本美しい森～お薦め国有林～」について情報発信や環境整備を実施していくとともに既存施設のレベルアップを図り、観光資源としての活用を推進する。

▼ ツシマヤマネコの保護対策

- ・ ツシマヤマネコの保護のために、生息の確認を行う自動撮影カメラの設置や水飲み場を管理
- ・ 定期的な林内巡視とツシマヤマネコと共生する森林整備に向けて引き続き調査を実施

▼ 山村地域における観光需要の拡大

- たしろばる
- ・ 田代原風致探勝林（雲仙市）において「レクリエーションの森管理運営協議会」と連携し、情報発信や修景伐採及び案内看板の設置等の環境整備を実施



自動撮影カメラに撮影されたツシマヤマネコ



自動撮影カメラに撮影されたシカ



ミヤマキリシマ保全活動



田代原風致探勝林

① 森林整備推進協定の取組

○ 取組の概要

・ 対馬・五島地域の森林・林業の再生に向け、森林の多面的機能の高度発揮と資源の循環利用を図るため、関係市町村や林業公社、森林組合等と森林整備推進協定を締結している。両地域において効率的な森林施業に資するため、森林共同施業団地を設定し、協定者間で連携・協力して団地化を推進し、合理的な路網の整備や計画的な森林整備を実施している。

▼ 具体的な取組

- ・ 両地域において協定に基づいた効率的な森林整備を推進していくため、運営協議会を開催し、施業実施箇所・実施時期並びに路網の計画、生産コストの低減等についての情報提供・共有を図る。
- ・ 五島地域においては、「林業専用道川原線実施協定書」に基づき林業専用道を開設し、合理的な森林作業道等の開設や効率的な間伐などの森林整備を、民有林と国有林が一体となり、連携して取り組む。
- ・ 対馬地域においては、引き続き協定者間の事業地の情報提供・共有を図りながら、連携して生産コストの低減等の森林整備に取り組む。



対馬地域森林整備推進協定運営会議



五島地域森林整備推進協定運営会議

② シカ被害対策の推進

○ 取組の概要

ニホンジカによる農林業被害が著しい対馬市において、被害を低減させるために当署・対馬市・地元猟友会で平成29年に「シカ被害対策協定」を締結し連携したシカ被害対策に取り組んでいる。

また、「森林保全再生整備に係る有害鳥獣捕獲等事業」を令和2年度から委託事業で実施している。

▼ 具体的な取組

・ 対馬市において行われるシカ被害対策の各種会議等に積極的に参画し、国有林の現状や捕獲状況等についての意見交換や情報を提供するとともに、初心者でも効率的に捕獲できる手法のくくりワナ「小林式誘引捕獲法」の実施を推奨

・ 締結している「シカ被害対策協定」に基づき、有害鳥獣捕獲従事者に対し「くくりワナ」の貸与及び捕獲技術向上に向けた指導等を実施

・ 令和7年度捕獲実績(令和8年3月末)	
協定に基づく捕獲頭数	721頭
シカ捕獲事業(委託)による捕獲頭数	20頭
計	741頭

くくりワナ「小林式誘引捕獲法」

小林式誘引捕獲法とは、くくりワナの周囲に石や誘引するための餌をドーナツ状に設置し、前足がワナにかかりやすいように工夫した捕獲方法。



シカによる樹皮被害

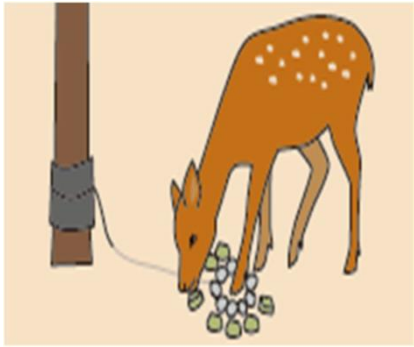


ワナで捕獲されたシカ



設置の様子

(ワナの周囲を石で囲み、さらにドーナツ状に餌をまく)



捕獲のイメージ

令和8年度 長崎県下国有林主要事業量の概要

【長崎北部、長崎南部、対馬、五島壱岐流域】

区 分		単位	7年度 当初 A	8年度 当初 B	対前年度比 B/A(%)	備 考
収穫量	主 伐	千m ³	27	20	74	
	間 伐	〃	81	87	107	
	計	〃	108	107	99	
木材の販売	立木による販売	千m ³	22	18	82	
	丸太による販売	〃	15	15	100	
森林の造成	植 付	ha	46	63	137	
	苗木本数	万本	9.0	12.0	133	
	下 刈	ha	112	110	98	
	つる切り・除伐	〃	8	7	88	
	保育間伐(高齢級含む)	〃	253	250	99	
林道(林業専用道)新設		km	0	0	0	
森林作業道開設		〃	28	25	89	
治 山	国有林野内直轄	千万円	(31.1) 41.7	(24.5) 35.5	(79) 85	下段は補正予算を含み、()書きは経常で内書きである。
	民有林直轄	千万円	—	—	—	